OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	日本語・日本文化 第26号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2000, 26
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21085
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

執筆者紹介（掲載順）

中田　一志　　本センター講師
山川　　太　　本センター助手
川森めぐみ　　本センター非常勤講師
小林　浩明　　本センター非常勤講師
湯通堂　誠　　本センター非常勤講師

編集後記

独立行政法人化、外部評価機関の設置など大学改革の流れは急である。その中、機関研究誌が生き残る道とは何か。それは、質の向上に努める以外に他はない。平成8年度末のセンター教育研究棟の新営以降、本委員会では本誌の一層の充実を目指して、編集方針や投稿規定等について議論を重ねてきたが、センター設立10周年を迎える来年度は、その全面的な見直しをはかる好機となろう。

今号（26号）では、日本語学関係の研究論文が2点、その他研究ノートが3点の計5論稿を掲載することができた。現在のところ、本誌では厳密な意味での査読は行っていないが、論文体裁上の問題については委員会としてコメントをつけた上で、執筆者に再投稿をお願いしている。その関係で入稿時期が印刷所の繁忙期と重なり、どうしても発行が遅れがちになる。この点を含めた改善策を来年度は打ち出せたらと考える次第である。　(H.K)

『日本語・日本文化』投稿規定

1．資格：本センター所属教官（非常勤を含む）及びセンター学術出版委員会において適当と認められた者。
2．内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告。
3．体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
4．要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
5．採否：原稿の採否はセンター学術出版委員会（『日本語・日本文化』編集委員会）が決定。

編集委員

加藤　均　　嶋本隆光　　平尾得子
岩井康雄　　山川　太

日本語・日本文化　第26号
2000年3月31日　発行
編　集　大阪外国語大学
発　行　留学生日本語教育センター
〒562－8558
箕面市粟生間谷東8－1－1
電話（0727）30－5459
FAX（0727）30－5074
印　刷　中西印刷株式会社